

修了評価の方法

評価基準作成者： 仲谷 増巳

| | |
|------------|---|
| 評価方法及び合格基準 | <ol style="list-style-type: none">1 出題範囲<ul style="list-style-type: none">・「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から「(9) ことごとからだのしくみと生活支援技術」までとする。2 出題形式<ul style="list-style-type: none">・五肢択一形式及び記述形式とする。3 出題数<ul style="list-style-type: none">・択一問題25問(配点4点)全問正解：100点満点4 合否判定基準<ul style="list-style-type: none">・60点以上5 不合格になったときの取扱い<ul style="list-style-type: none">・結果発表後、直ちに1時間の補習のうえ再評価を行う。 なお、再評価に係る合格基準は60点以上とする。 補習料及び再評価料：1回3,000円・再試験を最大2回まで実施する。 なお、再試験の結果、不合格であった者には再度補習を行う。 補習料及び再試験料：1回あたり3,000円 |
|------------|---|